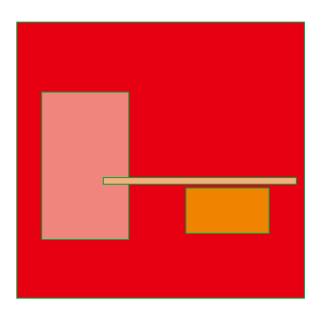
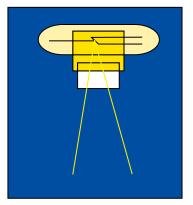
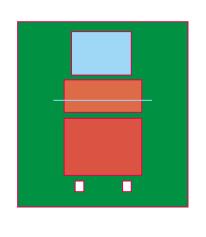
三重県放射線技師会誌

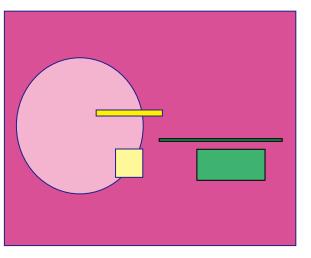
The journal of the Mie

Association of Radiological Technologists









300号 2023.10 vol.74 No.1

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

公益社団法人 日本診療放射線技師会



綱 要

- 1 . わたしたちは、医療を求める人びとに奉仕します。 We will render our services to those to need of health care.
- 1 . わたしたちは、チーム医療の一員として行動します。 We will act as individual members of a health care team
- わたしたちは、専門分野の責任をまっとうします。
 We will perform our duties in our field of specialty.
- 1 . わたしたちは、人びとの利益のために、常に学習します。 We will continue to study for the benefit of mankind.
- 1 . わたしたちは、インフォームド・コンセントを尊重し、実践します。 We will respect and practice the policy of informed consent.

300号 Vol.74 No.1 CONTNETS

- 巻頭言	4
□お知らせ	6
令和5年度 北勢消化器画像研究会 講演会	<u>×</u>
Off-Line Meeting	
□活動報告	7
第72回 南勢地区消化管撮影技術研究会	
□議事録	8
第73回 定時総会	
令和5年度 第1回 理事会	
令和5年度 第2回 理事会	
□編集後記	19

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

〒514-0032 津市中央2-4 三重ビル 502号

TEL/FAX (059)225-1491 H.P.: https://mieart.jp/ e-mail: contact@mieart.jp 郵便振替 00800-5-15152

郵便振替 00800-5-15152 銀 行 百五銀行津駅前支店 普通預金口座番号 0203779

□ 巻頭言



「運」がいい会長

(一社) 三重県診療放射線技師会 会長 界外忠之

朝起きるとテレビがついていて、情報番組の「今日の占い」のようなコーナーを見かけることがある。私自身は特段占いの類を信じることはないが、「今日は良い運勢です」と言われると何だか嬉しい気分になるのも確かである。

この巻頭言を書くために、何かいいネタが無いかネットを探っていたとき、ある本の紹介が目に留まった。よくテレビでも見かける、東京大学出身の脳科学者 中野信子先生の著書、科学がつきとめた「運のいい人」 という本であった。「運」というものは非科学的な事象で、「ただ身をゆだねるしかないもの」と考えていたが、運は脳科学的に説明でき、さらに運がいい人には共通した考え方や行動パターンがあり、自分の脳にその考え方や行動を習慣づけてしまえば自分も運が良くなるはずだと書かれていた。運は悪いより良いに越したことはないので、早速買って読んでみた。

誰もが一度は「あの人はツイてるな」とか、「運がいいな」などと羨ましく思い、逆に自分は「ツイてないな」とか「運が悪いな」などと落ち込んだことがあると思います。でも運・不運というのは、誰の身にも公平に起きていて、その運をどう生かすかに少なくとも人は主体的に関わっているというのです。

数学の理論に、ランダムウォークモデルと呼ばれるものがあります。コインを投げ表が出たらプラス1進み、裏が出たらマイナス1進む。これを1万回投げ座標に落とし込んだ時、完全にゼロの位置に落ち着くことはほとんど無く、およそプラスの方に200~300、マイナスの方に200~300という結果にな

ることが多いというのです。また、1万回すべてプラスあるいはマイナスということも滅多に起こらないとのことです。運もこれと同じようなもので、人生という限られた期間における目の出方はある程度どちらかに偏ってしまいますが、圧倒的にプラスだとか、圧倒的にマイナスという人も存在しないということです。運・不運は誰の身にも公平に起きているのですが、プラスかマイナスどちらかが数回続くだけで、運がいいとか悪いとか脳が思い込み錯覚してしまうのです。

運がいいと言われる人たちをよく観察すると共通の行動パターンや物事のとらえ方、考え方が見えてくるそうです。運がいい人は「単に恵まれている」という訳ではなく、運をつかみ、同時に不運を防ぐような行動、物事のとらえ方、考え方をしているというのです。その一つが、「何の根拠が無くても、自分は運がいいと思い込む」です。例えば仕事で失敗したとします、自分は運がいいと思っている人は、とりあえず運はいいはずなので、失敗の原因は準備不足であったのか勉強不足であったのかと原因を追究し、次の機会に備える。反対に自分は運が悪いと思っている人は、「自分は努力しているのに運が悪かったから失敗したのだ」と運のせいにして諦めてしまう。実は、運がいいと思っている人も悪いと思っている人も、遭遇している事象は似ている場合が多いのですが、その事象に対するとらえ方や考え方が違う。対処の方法も違う。これが長い年月を積み重ねれば、おのずと結果は大きく違ってくることは明らかです。だから何の根拠が無くても「自分は運がいい」と決め込んでしまった方がいいというのです。

結局、運というのは、その人が元々もっているのもではなく、生まれつき 決まっているものでもなく、その人の考え方と行動パターンによって変わる もの、といえます。

私が会長就任以来、方針の中心に置いてきた「技師会改革」、成し遂げられたものもあれば、志半ばに諦めたものもいくつもあります。しかし、会長就任当初の5年前と比べれば、確実に会員の雰囲気が変わったと自負しています。これは、運ではなく技師会役員はじめ、携わった方々の協力と努力のお陰ですが、このように改革を推し進めることができた素晴らしい仲間に巡り合えたことは、つくづく「私の運が良かったのだ」と言い切ってしまうことといたします。

□ お知らせ

令和5年度 北勢消化器画像研究会 講演会 Off-Line Meeting

北勢消化器画像研究会

代表世話人 四日市羽津医療センター 伊藤誠

令和5年度 講演会 Off-Line Meeting

場所:四日市市文化会館 第3ホール

日時: 令和5年11月4日(土) 14:00~

参加費 前売り WEB チケット 1000円

当日2000円

Off-Line 対面形式の研修会です、下記 URL にてチケットを入手してください。

https://hokuseishoukaki.peatix.com

(申込期限 10月31日正午ただし定員に達し次第締め切ります).

=====プログラム=====

総合司会進行 JCHO 四日市羽津医療センター 杉田和久

13:30 受付開始

14:00 開会あいさつ

JCHO 四日市羽津医療センター 伊藤誠

14:05 初心者セミナー 「**すとまっぷを用いた示現領域の理解」**

座長 鈴鹿中央総合病院 岩崎哲也 先生

講師 松波総合病院 若井信悟 先生

14:50 教育講演 「嚥下と誤嚥 基礎から対処法まで」

座長 JCHO 四日市羽津医療センター 杉田和久 先生

講師 JCHO 四日市羽津医療センター 南川 瑛奈 先生

15:30 休憩

15:40 特別講演 「元祖!しくじり先生 ~失敗から学ぶ撮影技術~」

座長 東海北陸支部技師代表 西川孝 先生

講師 岩手県予防医学協会 久保田憲宏先生

17:00 特別企画 『実践:胃X線画像の画質評価』

司会進行 日本消化器がん検診学会東海北陸支部技師代表 西川孝先生

講師 岩手県予防医学協会 久保田憲宏先生

18:30 閉会

胃がん検診専門技師の更新単位、2単位が付与されます。 日本診療放射線技師会の生涯学習カウントが付与されます。

問合せ先:JCHO四日市羽津医療センター 伊藤誠まで

TEL: 059-331-2000(代)内線 2717

E-mail: itou-makoto@yokkaichi.icho.go.jp

URL: http://hokusei.kenkyuukai.jp/

共催:三重県診療放射線技師会・ JCHO 四日市羽津医療センター



□ 活動報告

第72回 南勢地区消化管撮影技術研究会

日 時 2023年6月29日 木曜日 19時30分

場 所 WEB (自宅他) : ZOOM

参加者:28名

内 容

19:30~

* トピックス : フィリップス「PHILIPS CT 最新情報 2023」

SpectralCTを中心にその他AIを取り入れたオートポジショニングやノイズ 低減のAI再構成等の被ばく低減化やAI心臓再構成などを含めてフォトンカ ウンティングに通じるエネルギー画像によるスペクトラルイメージを紹介し て頂きました。

* 急性膵炎について : 市立伊勢総合病院 小嶋 里佳

急性膵炎の基礎の解説から症例画像の提示による疾患の学習を皆さんで共有することができました。

* 胃 X 線診断の基本⑥ : 松阪中央総合病院 山本

シリーズで行ってきました胃 X 線画像の診断ということでカテゴリー分類を中心とした学習です。基本となる画像を実際に閲覧していただき、WEB 上で"投票"機能により参加された皆さんが'カテゴリー分類'していただくことで画像に慣れ親しんでいただきました。"WEB であることで自由に、そして周りを気にせず投票できた"という意見もあり、このような勉強会では個人が参加し考えることが重要と考えられることから基礎的なカテゴリー分類を有意義に皆さんで学ぶことができたと思います。

今回でこれまで行って来た胃や大腸等の基礎的学習のシリーズはほぼ完了となります。永年にわたり"基本を基本を"と行ってきましたが、やはり X 線画像診断は"基礎学習"の反復が重要と考えます。今後も皆様の学習支援にお役に立てる研究会であることを心より願いたいと思います。

□ 議事録

第73回 定時総会

1 開催日時 令和5年5月28日(日) 13時00分~14時00分

2 開催場所 三重大学医学部 臨床講義棟 第2講義室

3 会員総数 606 名

4 参加会員数 444 名 (内訳 本人出席 44 名 、委任状出席 400 名)

5 総会出席役員

【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、丹羽 正厳、安本 浩二、難波 一能、小林 篤、太田 茂治、四竃 明日香、草川 拓也、山下 剛、星野 吉昭、清水 孝哉、大友 秀夫、福田 剛史

【監事】吉田 亘孝、白藤 裕敏

6 総会司会

• 丹羽 正厳

7 総会の議長の氏名

鈴木 延

8 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名

• 福田 剛史

9 開会の辞

・ 13 時 00 分、山田副会長が第 73 回一般社団法人三重県診療放射線技師会定時総会の開会を宣言。

10 会長挨拶

11 表彰受賞者紹介

- 日本診療放射線技師会地域役員功労表彰 山田 剛氏
- 三重県診療放射線技師会会長表彰 武藤 裕衣氏、浅沼 源示氏
- 勤続 50 年表彰受賞者 矢田 五夫氏
- · 勤続 30 年表彰受賞者 近藤 偲瑞子氏、伊藤 正道氏、二宮 昭人氏、三好 佳仁氏、飯田 喜朗氏、 一色 朋晃氏

12 議長選出

• 済生会松阪総合病院 鈴木 延氏

13 議長登壇

14 資格審査を報告

・ 会員総数 606 名に対し、委任状出席 400 名を含む出席者数が合計 444 名であったため、過半数を超 えている。定款第 17 条により本総会の成立が宣言された。会場整理係に、大友理事及び星野理事が 指名された。議事録署名人 2 名に、清水理事及び安本業務理事を指名し議案の審議に入った。

15 議事の報告結果及び議案別決議の経過

報告1号について報告

- ・ 令和4年度事業経過を界外会長より報告。
- ・ 令和4年度総務報告を安本業務理事より報告。
- ・ 吉田監事より外部監事による監査報告書並びに令和4年度監査報告書の内容報告。
- ・ 報告1号に対し書面も併せ、意見なし。

報告2号について報告

- 令和5年度事業計画を界外会長より報告。
- ・ 令和5年度予算を森田業務理事より報告。
- ・ 報告2号に対し書面も併せ、意見なし。

決議事項の審議

第1号議案

- ・ 第1号議案、貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について森田業務理事より上程。
- ・ 第1号議案に対し書面も併せ、意見なし。
- ・ 第1号議案承認に対し、決議を行い賛成444、保留0、反対0、賛成多数にて第1号議案は可決された。

第2号議案

・ 第2号議案、一般社団法人三重県放射線技師会定款の変更について界外会長より上程。定款第17条により、定款の変更については「総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上にあたる多数」が必要となるが、決議を行い賛成444、保留0、反対0、賛成多数にて第2号議案は可決された。

第3号議案

・ 第3号議案、会員及び会費に関する規定の改定について安本業務理事より上程。第3号議案承認に対し、決議を行い賛成444、保留0、反対0、賛成多数にて第3号議案は可決された。

その他事項

・事前書面によるその他の事項の意見は無かった。

議長は予定の議案はすべて決議され滞りなく審議を終えたことを宣言した。

16 議長降壇

17 閉会の辞

・武藤副会長が、第73回一般社団法人三重県診療放射線技師会定時総会の閉会を宣言。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、14時00分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録をつくり、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

議長

令和5年5月28日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

議事録署名人	安本 浩二	
議事録署名人	清水 孝哉	ED

鈴木 延

(EII)

令和5年度 第1回 理事会

- 1 開催日時 令和5年5月28日(日)11:30~12:30
- 2 開催場所 三重大学医学部 臨床講義棟 第1講義室
- 3 出席者氏名 【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、丹羽 正厳、 安本 浩二、難波 一能、小林 篤、太田 茂治、四竃 明日香、草川 拓也、 山下 剛、星野 吉昭、清水 孝哉、大友 秀夫、福田 剛史

【監事】白藤 裕敏、吉田 亘孝

【教育委員】松浦 佳苗

4 進行等

定款第30条により会長が議長となり、11:30開会を宣言した。

理事会を構成する理事 17 名のうち 17 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。

- 5 議事録作成 福田 剛史
- 6 議事

【決議事項】

(1) 令和 6 年度春の叙勲候補者について

令和6年度春の叙勲候補者の推薦について5月23日に表彰委員会が開催された結果、元会長である 葛原三千克氏を推薦することとなった。

このことを受け、葛原氏を令和6年度春の叙勲候補者に推薦する可否について上程された。 決議の結果、賛成多数により葛原氏を候補者とすることが承認された。

(2) 学術・教育委員会委員候補について

山田副会長より、学術・教育委員会委員に鈴鹿医療科学大学 松浦佳苗先生の推薦があった。 決議の結果、賛成多数で承認された。

(3) 鈴鹿医療科学大学の顕彰碑について

1年に1回、鈴鹿医療科学大学でJARTの理事会が開催されている理由は、その年に亡くなられた先輩方の入魂式を行うためである。三重県の知名度を上げる目的で公式に【三重県が診療放射線技師の聖地である】とJARTの理事会で上程するかどうかの可否について界外会長より提案がなされた。

- : 顕彰碑は過去のもので【聖地だった】の方が望ましいのではないか。
- : 鈴鹿医療科学大学は技師会が中心に作った大学であることなどを含め、三重県診療放射線技師会の 広報活動の一環として【三重県が診療放射線技師の聖地である・だった】と JART に打診してはどうか。
 - → JART (上田会長) と相談することとなった。
 - → 今理事会では決議を取らず提案は取り下げとなった。

【検討事項】

(1) 令和5年度第3・4回告示研修開催責任者の選出

8月26(土)・27日(日)に第3・4回告示研修を開催するが、会長の都合により両日ともに会場責任者を務められないため会場責任者を理事の中から選出した。

→ 8月26日(土):山田副会長、 8月27日(日):武藤副会長

【会長報告事項】

(1) 令和4年度第2回助成団体会議について

4月27日、助成団体会議を開催した。当会からは会長・山田副会長・森田業務理事・丹羽業務理事・安本業務理事・白藤監事・吉田監事、助成団体は7団体すべての代表者が出席された。

今までの助成金支払い方法の間違いについて説明とお詫びを申し上げた上で、今後の支払い方法について説明し同意を得た。

助成団体の活動状況について意見交換をする中、乳腺勉強会は解散する方向で考えており、解散時にはトーラストファントム2セットを当会に寄付することを考えているとのことであった。

時期的には次年度以降となる予定ですが、ファントムを寄付いただいた場合は物品であっても受贈益 という会計処理が必要であると山中会計士さんより指摘いただいている。

また、現在トーラストファントムは各施設に貸し出しをしているとのことで、当会に寄付した後もその貸し出し業務は継続してほしいとの要望がある。この業務については四竈委員長に確認したところ継続可能とのことで委員会としても寄付を望むとのことであった。

(2) JART 令和 5 年度第 2 回理事会の報告

- ・既卒者の入会が増えていること。JART 事務局の対応が遅いと指摘があり、事務局員増員にて対応改善を図る方向である。
- ・JART のみの会員(以前の規定による)がいることは認めている。県だけの会員は各県の規定を尊重 する。但し県のみの会員は、告示研修に関して非会員扱いとする。
- ・養成校の告示研修について

現在の大学3年生は、来年度8月・9月に告示研修を受講することが国家試験受験の必須条件となる。通常の告示研修とは別に養成校向けの告示研修についてファシリテーターの確保等について県技師会への協力が要請される可能性が高い。詳細は養成校会議にて決定されるが必要であれば、県技師会としても協力したいと考えている。

- ・スマートフォンに会員カード機能を実装する予定である。
- ・各種認定試験は CBT 方式になる。(現在、各分科会で試験問題を設定する作業を進めている)

(3) 令和5年度第1回中日本会長会議の報告

5月17日、中日本会長会議が開催された。主な目的は5月29日にJARTとして初めて開催される地域理事会議に挙げる各地域からの要望を取りまとめることであった。

- ① 告示研修について中日本地域からの要望
- ・JARTIS の申し込みシステムを改修していただきたい。満席になってもキャンセルが出た場合は速やかに再募集ができるようにしていただきたい。当面は無理かと思うので、手作業で再募集ができるようになった場合は県技師会に知らせて欲しい。
- ・一人で複数の会場を予約できないようにしていただきたい。
- ・講師、スタッフの謝金、ならびにお弁当代を値上げしていただきたい。
- ・参加者の人数に合わせファシリテーターの数を減らすルールを緩和していただきたい。
- ② 石川県の地震を受けて各県の災害時確認方法を尋ねたが、どこも実際に運用できている方法は無く、メールの一斉送信が良いとは考えているがメールアドレスの収集が課題である。

- → 今年度の医療安全危機管理委員会事業で、各施設の被災状況を瞬時に確認できる方法を構築していきたい。
- ③ 今年度のレントゲン週間事業は、石川県を含む4県での開催予定である。
- ④ 新しく国家試験を取られた方の、免許証の発行が全国的に遅れている。お困りの施設があれば JART に報告するので界外会長まで連絡する。

【会長活動報告】

- 1. 春季セミナーに出席し座長を務めた。4月20日 (web)
- 2. 令和4年度第2回助成団体会議に出席した。4月27日 (web)
- 3. 令和5年度第2回 JART 理事会に出席した。5月13日 (web)
- 4. 令和5年度第1回中日本会長会議に出席した。5月17日 (web)
- 5. 表彰委員会に出席した。5月23日 (web)
- 6. 鈴鹿医療科学大学評議委員会に出席した。5月26日(鈴鹿医療科学大学)

【副会長・業務理事・理事報告】

- ・次回理事会にて秋季セミナー・業務改善委員会活動について提案する。(武藤副会長)
- ・第3回レントゲン週間事業は鈴鹿医療科学大学際(11月12日)と同時開催する。(武藤副会長)
- ・夏季セミナー(6月8日)を開催しますので事前登録をお願いしたい。(山田副会長)
- ・親睦事業として、ビアガーデンを津駅前にて(8月19日)開催する。(安本業務理事)
- ・第1回乳腺講演会(8月20日13:00~)を開催する。(四竃理事)

【教育委員報告】

告示研修を8月26日、27日に開催する。先行予約:6月24日~、一般予約:7月1日~。 フレッシャーズセミナーを7月23日に開催する。申し込み締め切り:7月10日まで。 (松浦教育委員)

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、12:30 に閉会した。

以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和5年5月28日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長 界外 忠之

令和5年度 第2回 理事会

- 1 開催日時 令和5年7月31日(月)19:00~21:05
- 2 開催場所 Web Zoom
- 3 出席者氏名 【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、安本 浩二、 小林 篤、太田 茂治、四竃 明日香、草川 拓也、星野 吉昭、清水 孝哉、 大友 秀夫、福田 剛史

【監事】白藤 裕敏、吉田 亘孝

【教育委員】松浦 佳苗

4進行等

定款第30条により会長が議長となり、19:00開会を宣言した。

理事会を構成する理事 17 名のうち 14 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。

- 5 議事録作成 福田 剛史
- 6 議事

【決議事項】

(1)新入会員の承認

新入会 21 名、転入者 4 名について本会への入会を希望しているので入会の可否について決議を行った結果替成多数により入会が承認された。

(2)各種表彰候補者について

- ①7月18日webにて表彰委員会が開催され以下の表彰候補者が推薦された。 令和5年度公衆衛生事業功労者知事表彰候補者に、武藤裕衣さんを推薦することの可否について決議 を行った結果、賛成多数により推薦することが承認された。
- ②令和5年度日本公衆衛生協会公衆衛生事業功労者表彰候補者に、森田不二夫先生(四日市羽津医療センター)を推薦することとなり、理事会にて森田不二夫さんを推薦することの可否について決議を行った結果、賛成多数により推薦することが承認された。
- ③三重県診療放射線技師学術大会準備委員候補について

山田副会長より、三重県診療放射線技師学術大会準備委員に松浦佳苗先生の推薦があり、理事会 決議の結果、替成多数で承認された。

【検討事項】

(1) 会長表彰について

JART 定時総会で自施設の卒業式で放射線学科だけ職能団体からの表彰が無いので、肩身が狭いとの意見があり JART として検討するとのことであった。鈴鹿医療科学大学ではどうか検討したところ、卒業式の中では時間は無いが放射線学科だけの時間に表彰することは可能であり、優秀な学生数名に三重県技師会会長表彰を発出してもいいのではないかとのことであった。

理事会決議の結果、賛成多数により県技師会から鈴鹿医療科学大学の学生を表彰することが承認された。

ただし、学生を評価する基準については職能団体が学生を表彰する場合の基準を調査した上で、三重

県学術大会での発表・オンラインセミナーへの参加回数など数値での基準を表彰委員会及び業務理事会で検討し、次回理事会で確認することとした。

(2) 災害時被災状況確認連絡網について

会長より、JART 災害対策委員長として、幾度も大雨災害や地震での会員の被災状況を確認している経験を踏まえ、現在、県技師会として一斉に被災状況を確認可能なシステムが構築されていない状況であるため、医療安全・危機管理委員会にて確認システムを構築するよう要望があった。災害時のメーリングリストなどの確認方法を、医療安全・危機管理委員会にて作成することが承認された。

情報提供として、JART の被災対象については、会員が住んでいる持ち家(借家は認めない)のみ、調査期間は約1 か月以内(後日個別で申し出た場合も受け入れ可能)、突風などの限定的な被害も認めること。

個人の被災状況の把握が必要な理由として、被災による会費免除(例:大雨時の床上浸水以上)や災害支援認定技師の派遣について考慮するためであると説明があった。

(3) JART 会長と若手会員の懇談会について

9月25日(月)18:30にJART 会長と若手技師の懇談会(理事の視聴は可能ですが、意見は述べられない)が開催されます。参加者は、上田会長・児玉副会長・県技師会会長・若手技師2名(20代または30代の男女)。

若手技師が JART のことをどう思い、診療放射線技師の将来についてどう考えるかなどを発言できる 若手2名を紹介して頂きたい。

→候補者がいる施設は会長に連絡する。紹介がない場合は後日個別でお願いする。

(4) 第39回 JCRT 熊本大会意見交換会へのお酒の提供について

コロナ前のように意見交換会を開催するため、各県から地酒の提供を要望されている。前回同様「而今」を贈ることで承認された。

(5) JART 業務改善推進委員会について

上田会長より、7月22日付メールにて地域理事に2024年度からJART業務改善推進委員会廃止の通達があった。廃止理由は前身である女性活躍推進委員会を引き継ぎ、のちに業務改善推進委員会として今まで活動してきたが、活動の方向性が統一できなかったことや各地域での活動に温度差があるなどが挙げられる。今後は、その機能を上位の人材育成委員会に統合するとのことであった。

中日本地域業務改善委員会で 2023 年度は例年通りの活動とするが、2024 年度は JART からの助成金が 無いことが決まっている。先日の中日本地域業務改善委員会の中で委員会存続について検討した結果、 委員会の有用性と必要性を感じており存続を望むが、活動には経費がかかるため委員会存続の是非は 中日本会長会議に委ねることとなった。

三重県としてはどうするか検討した結果、業務改善推進委員会から人材育成委員会に名称変更を行い、活動は例年通り2名を委員として参加させ、また経費についてもバックアップするという意向を中日本会長会議(8月8日)で報告することとなった。

(6) JART レントゲン週間事業について

レントゲン週間事業について、JART は今年度より開催時期を特定せず、2月中旬までなら柔軟に受け付けることになり、今後は「週間事業」の名前も変更することとなった。

また補助金の申請も開催の2か月前程度まで可となった。

例年、鈴鹿医療科学大学学園祭時(11月2週目)に千代崎キャンパスにて企画を行ってきたが、今年 度は白子キャンパスになり与えられるスペースも小さくなるとの報告があった。 レントゲン週間事業・レントゲン祭・顕彰碑の参拝について議論をおこなった結果、レントゲン週間 事業は鈴鹿医療科学大学学園祭と合同開催することとした。

三重県診療放射線技師会学術大会に、レントゲン祭及び顕彰碑の参拝を行うこととした。

【会長報告事項】

(1) 会員親睦事業について

8月19日(土)、津駅屋上ビアガーデンにて4年ぶりの会員親睦事業となる「大ビアガーデンパーティー」を開催する。

賛助会員は含まず、会員・非会員のみを対象とし、助成金は使用しない。

参加者現在26名。随時募集中。

(2) JART 地域理事会議報告

5月29日、JART 執行部と8地域理事により地域理事会議が開催された。

上田会長より今後のJARTは、トップダウンではなくボトムアップも必要であり地域理事は会員とJART のパイプ役として期待している。またJART事業のスリム化を進めていく。

〈短期目標〉

- ・JARTIS オンラインコンテンツの充実と無料化。
- ・各種認定試験の CBT 試験導入。
- ・新しいウイルスへのワクチンの打ち手講習会確立。
- ・JART 事務員を増員して会員サービスの強化、事務員として技師の採用を検討中。

(事務員への暴言・カスタマーハラスメントの防止)

〈中期目標〉

- ・会員組織率の向上、現在 58%→5 年後 70% (三重県現在 78%)。
- ・養成機関との連携強化、卒前・卒後教育に JART が関わる。
- ・管理者の育成、ラダーの周知・活用。

〈長期目標〉

JARTvision2040 が公開された。下記 2 点をもって診療放射線技師職の継続と発展を成し遂げる。

- ・放射線以外の画像診断へのアプローチ。
- ・病院業務以外への業務拡大。

(3) 第85回 JART 定時総会報告について

日本診療放射線技師学術大会が熊本県(令和5年度)、沖縄県(令和6年度)で開催される。沖縄大会は技術学会と合同で開催される。今後も数年に一度、合同開催される予定。

(4) 令和 5 年度第 1 回 CCRT 運営会議委員会報告

6月20日、webにてCCRT運営会議が開催された。

委員紹介、内規確認、倫理委員会の設置に伴い規定の確認をおこなった。三重県の倫理委員は三重大 学の山尾先生にお願いをした。

CCRT 事務局が、岐阜医療科学大学の杉浦先生(JART 代表)から岐阜大学病院の三好先生(JCRT 代表)に交代となった。

第15回 CCRT (福井) の進捗状況確認

- ・ 各県にポスター発送。
- ・演題募集開始。(締め切り8月31日)

- ·業務改善委員会企画。
- ・JART、JCRT トップ会談企画は上田会長が欠席のため、江藤副会長が代理出席となり講演会に変更された。
- ・懇親会100名程度の予定だったが、役員のみになる可能性あり。
- ・福井のホテルが取りにくい状況で、参加予定の方は早めの予約をお願いします。

(5) 第3回診療放射線取扱施設代表者会議報告

- 6月21日 web 開催された。(参加者26名)
- ・技師会事業の開催日について意見交換を行い、開業医の参加者がいなかったが土曜日開催で良いと のことであった。
- ・ハラスメントに関する意見交換を行った。
- ・今年度内にもう一度開催予定。

(6) 令和 5 年度第 4 回 JART 理事会報告

7月8日 web 開催された。

- ・第 40 回 JCRT (第 1 回日本放射線医療技術学術大会) は沖縄開催なので赤字が見込まれ、参加費の 値上げを考えているが会員に対しては丁寧な説明が必要。
- 事務局長交代。
- ・告示研修で閉校式まで参加できない場合は、修了証書を渡せない。
- ・第 42 回 JCRT に山形県が立候補した。
- ・2023 年度 JART 認定試験から CBT 試験を導入 (8月~1月)。期間中は再試験が可能。
- ・沖縄県で告示研修を前日中止にした際に混乱が起きたので、中止の判断は早めにお願いしたい。

(7) 全国会長会議報告

7月16日web開催された。

- ・首都直下型地震に対して JART 本会の BCP が公表された。
- ・告示研修実績報告された。

診療放射線技師数:56845名

講習会申込者数: 29105 名(51.2%)、基礎講習修了者数: 21839 名(38.4%)、実技研修修了者数: 11834 名(20.8%)

令和 4 年度末、放射線技師会 101.5% (目標達成)、検査技師会 66.3%、臨床工学士会 93.5%

・学生向け告示研修について

現在の3年生は、4年次に学内で告示研修受講し12月までに修了証を受け国家試験を受験する。 研修監督者(医師含む)とファシリテータは大学側で準備をするが、実施責任者(研修時間等の確認)1名は県技師会役員から派遣する。

(8) 第39回 JCRT 熊本大会一般演題座長について

三重県の各御施設から8名の座長候補を推薦していたが、3名が座長に決定した。

X線撮影:内藤 菜美先生(三重大学医学部附属病院)

超音波:安本 浩二先生 (三重県立総合医療センター)

マンモ:稲垣 由美先生(市立四日市病院)

(9) 令和6年度春の叙勲候補者推薦結果について

葛原元会長を叙勲候補者に推薦していたが、選外となった。今後も表彰委員会で推薦していく方向 で検討する。

(10) 三重県臨床工学士会教育セミナーの後援について

臨床工学士会より第 54 回教育セミナーについて後援依頼があった。毎年開催されているため、理事会の承認を得ず後援を了承した。

【会長活動報告】

- 1. JART 地域理事会議に出席した。 5月29日 (web)
- 2. 三重県医療保健部に叙勲推薦状を提出した。 6月6日 (三重県庁)
- 3. 夏季セミナーを開催した。 6月8日 (web)
- 4. 第85回 JART 定時総会に出席した。 6月10日 (web)
- 5. CCRT 運営会議に出席した。 6月20日 (web)
- 6. 第3回診療放射線取扱施設代表者会議に出席した。 6月21日 (web)
- 7. 令和5年度第2回告示研修の会場責任者を務めた。 6月24、25日(鈴鹿医療科学大学)
- 8. 令和5年度第1回業務理事会を開催した。 7月4日 (web)
- 9. 令和5年度第4回理事会に出席した。 7月8日 (web)
- 10. 令和5年度第2回日本診療放射線技師連盟理事会に出席した。 7月10日 (web)
- 11. 令和 5 年度 JART 地域委員会(全国会長会議)に出席した。 7月 16日 (web)
- 12. 表彰委員会を開催した。 7月18日 (web)
- 13. 令和 5 年度第 1 回 JART 災害対策合同会議を開催した。 7月 20 日 (web)
- 14. 令和 5 年度フレッシャーズセミナーを開催した。 7月 23 日 (web)
- 15. 令和5年度第1回中日本地域業務改善推進委員会に出席した。 7月24日 (web)

【副会長・業務理事・理事報告】

(1) 夏季セミナーについて(山田副会長)

6月8日 (web) に開催された。145名の参加者で大盛況であった。

(2) 秋季セミナーについて (武藤副会長)

9月14日 (19:00~20:00 web) が開催予定である。JART 生涯教育ポイントは申請しないこととなった。

(3) 業務改善アンケートについて (武藤副会長)

女性技師が全国的に増加傾向にあり労務管理について経時的な調査が必要と考えられるため、<u>web</u>にてアンケートを実施する要望があった。集計結果については学術大会等で発表する。

→業務改善アンケートを実施することが承認された。

(4) 編集・広報委員会より報告

県技師会メール配信サービス vol. 201~213 を配信した。ホームページに CCRT・告示研修・求人案内を掲載した。(浅沼業務理事)

三重県診療放射線技師会学術講演会 (R5.5.28) の参加者統計が報告された。伊賀地区の参加率の増加が今後の課題であった。(大友理事)

(5) 財務報告

寄付金等申請書の改定について (森田業務理事)

決議の結果、賛成多数で承認された。

(6) 第1回乳腺講演会報告 (8月20日 13:00~) 現在118名の事前登録者。(四竃理事)

【教育委員会報告】(松浦教育委員)

- ・令和5年度第1、2回告示研修報告(R5.6月24日、25日)。
- ・ 令和 5 年度第 3、4 回告示研修の開催について (R5.8 月 26 日、27 日)
- ・令和5年度第5、6回告示研修の開催について(R6.1月27日、28日予定)
- ・ 令和 5 年度フレッシャーズセミナー開催報告 (R5.7月23日)
- ・MRI 基礎講習会の開催について (R5.12月2日)、申込期間 (9月1日~11月19日、定員100名)
- ・令和5年度統一講習会について (R6.1月7日・8日予定)、スタッフ調整中

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、21:05 に閉会した。 以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和5年7月31日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長 界外 忠之

□ 編集後記

Webで会議を行う様になって、当初の不慣れも解消しもはや当たり前の感がある。学会・研究会もWeb開催からWebと現地合わせてのハイブリッド開催も盛んに行われる様になり随分便利な世の中になった。

今年から所得税の年末調整もWeb入力による申告が始まり、保険会社からxmlファイルを取得後に申告ページにuploadするだけで自動的に計算してくれる。なんて便利なんだ!

職場での申告方法のチュートリアル参加者からの質問に『スマホが無いひとはどうすればauthenticatorの2要素認証が可能か?』という意見があった。確かにWeb関係はスマホ有りきで運用が進んでいるし、これからもどんどんそういったサービスは拡大していくのだろう。

スマホ購入資金が所得控除対象になる日を夢見て、この先もしっかりついてい行きたい。

三重県診療放射線技師会 300号 Vol.74 No.1

発行日 2023年10月27日

発行所 〒514-0032 三重県津市中央2-4 三重ビル 502号

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

TEL/FAX 059-225-1491

ホームページ: https://mieart.jp

facebookページ: https://facebook.com/mieprefart

E-mail: contact@mieart.jp

発行人 界外 忠之

制作。三重県診療放射線技師会編集班